



南 港



創立 明治8(1875)年2月12日

〒010-0511

男鹿市船川港船川字漆畑36番地1

男鹿市立船川第一小学校

TEL 0185-24-3231

FAX 0185-24-3232

E-mail : funaichi@namahage.ne.jp

<https://edu.city.oga.akita.jp/funaichi-es/>

前期後半のスタートです！ 気持ちを一つに！！

校長 松田 万寿雄

前期後半がスタートして1週間ほどになりました。子どもたちは、猛暑が続く中で元気いっぱい学校生活を送っています。

夏休み中に県教委からの文書類等を整理していた時に、「 $100-1=0$ 」と大きく書かれていた表記が目に入りました。この「 $100-1=0$ 」というのは、どんなに大きな力が集まっても、最後のひとつが欠けてしまえば、本当の力にはならないという意味をもつ言葉です。学校生活も同様です。学校行事や勉強、友達との関わりの一つ一つを、みんなが大切にすることで「100」の力を発揮することができます。一人一人が自分の役割を真剣に、そして粘り強く果たそうとすることが大切なのです。ご存知の通り、本校は創立150周年を迎えました。11月1日には記念式典を行う予定です。これまでの歩みは、子どもたち一人一人の努力、先生方の思い、そして保護者の皆様、地域の方々の支えが積み重なってきてつくられてきました。

子どもたちには、この節目の年に「自分がその大切な一人である」という自覚をもち、仲間と力を合わせてさらによりよい学校をつくってほしいと願っています。

最後になりますが、記念式典や記念事業を進めるにあたり、多くの事業所等の方々から温かいご協賛をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。今後とも船川第一小学校の発展のためにご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。



くじらっこの活躍



☆第10回男鹿市潟上市南秋田郡小学生バレーボール交流大会

優勝

男鹿杉っ子バレーボールスポ少

・6年 ○○○○、○○○○

・5年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

☆スミセイVitalityカップJVA第45回全日本バレーボール小学生大会秋田県大会

【混合の部】第3位 男鹿杉っ子バレーボールスポ少

・6年 ○○○○、○○○○

・5年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

・4年 ○○ ○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

・3年 ○○○○

☆令和7年度男鹿市・潟上市・南秋田郡児童生徒席書大会

【硬筆の部】

優秀賞

1年 ○○○○、○○ ○、○○○○、○○○○、○○○○○、○○○○

2年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

○○○○、○○○○○

【毛筆の部（半紙）】

金賞

4年 ○○ ○ 5年 ○○○○○

銅賞

3年 ○○○○

5年 ○ ○○

【毛筆の部（条幅）】

銀賞

5年 ○○○○○

【全国学力・学習状況調査の結果について】

6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果の概要をお知らせいたします。今年度は3年ごとに行われる理科も加えての実施となりました。

調査の目的は、以下に示されているとおりです。本校においても、今回の結果を分析、考察し、授業改善につなげていきたいと思っています。

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【国 語】

- ・本校6年児童の国語科全体の正答率は、秋田県の平均正答率を5%以上、全国平均を10%以上上回りました。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の問題については、県平均と全国平均を上回りました。
- ・記述式の問題の正答率は、全国平均を8ポイント程上回り、県平均とはほぼ同程度でした。
- ・文章と図表を結び付けて分かりやすい書き表し方を説明する基本的な技能を問う問題については、県平均と全国平均をやや下回る結果となりました。
- ・漢字の書き取りの正答率は、全国平均と同程度でしたが、県平均をやや下回りました。

☆漢字の書き取りは、昨年度行った全国学力・学習状況調査や秋田県学習状況調査においても、平均を下回っており、本校における課題の一つでもあります。漢字の学習については、繰り返し練習するとともに、意味や使い方などについても丁寧に学習を進めていきたいと思っています。また、漢字や言葉への興味・関心を高めるために4年生以上で定期的に行っている「なかよし班対抗漢字集め競争」に引き続き取り組んでいきたいと思っています。加えて、毎日の授業の中で、話合いの話題から逸れないように伝えることや自分の考えを相手に分かりやすく表現できるようにする力を育てていきたいと思っています。

【算 数】

- ・本校6年児童の算数科全体の正答率は、県平均と全国平均の正答率とともに5%以上上回りました。
- ・「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全ての領域で、県平均と全国平均を上回りました。特に「変化と関係」「データの活用」の2領域は、県平均と全国平均を大きく上回りました。
- ・分数の仕組みや表し方の問題は、本校を含めて全国的に正答率が非常に低い結果でした。また、分数の計算の問題では、県平均と全国平均を大きく下回る結果となりました。
- ・既習の図形の面積の公式を活用して五角形の面積の求め方を説明する問題では、県平均を大きく下回りました。
- ・記述式の問題の正答率は、県平均と全国平均とともに上回りましたが、本校を含めて全国的に正答率が低い結果でした。

☆分数や小数等を含めた数の仕組みや表し方について丁寧に学習を進めたり復習に取り組んだりしていきたいと思っています。また、問題の意味をしっかりと理解すること（何を問われているのか）や、順序立てて分かりやすく書いたり、友達に説明したりする力を育てていきたいと思っています。

【理 科】

- ・本校6年児童の理科全体の正答率は、秋田県の平均正答率を5%以上、全国平均を10%程上回りました。
- ・「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全ての領域で、県平均と全国平均を上回りました。しかしながら、「エネルギー」の領域は、本校を含めて全国的に正答率が低い結果となりました。
- ・生物や植物、自然の事象等の問題の正答率が全体的に県平均と全国平均を上回っていました。特に観察結果やデータから課題を見い出したり、予想を立てたりする問題については、全国平均を30%超上回っていました。
- ・電気を通すものや磁石を引き付けるものなどの金属の性質を問う問題の正答率が非常に低い結果でした。全国的にも非常に正答率が低い結果でした。

☆観察、実験の結果や結論、ものづくりでできた装置などを、図に整理したり、言葉で説明したりするなど、学習を通して得た知識の理解を深め、知識・技能の定着を図っていききたいと思っています。